

報道関係者各位

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

日本アンチ・ドーピング機構と東南アジア地域アンチ・ドーピング機構との覚書の更新について

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（所在地：東京都文京区、会長：鈴木秀典、以下 JADA）は、東南アジア地域アンチ・ドーピング機構（Southeast Asia Regional Anti-Doping Organization 以下 SEARADO）との間で、クリーンスポーツ環境を整備する協力体制の構築を目的とした覚書を更新いたしました。



JADAとSEARADOは、2014年に初めて2者間で覚書を締結、2017年には公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック組織委員会を含めた3者間の連携に拡大し、東南アジア各国のアンチ・ドーピング・プログラム開発、東京2020大会での経験値の共有を目的とする覚書を締結、3者の協力により実践経験を積んだSEARADO加盟国の検査員が東京2020大会に派遣され検査実施に大きく貢献するなど、成果をあげてまいりました。

このたびの覚書の更新は、3者による覚書のもとでの活動が満了となることを受け、JADAとSEARADOとの間で積み上げてきた連携をより一層推進するために、2者間の覚書をあらためて締結するものです。

JADAは、東京2020大会から得た知見をもとに、SEARADO加盟国との間で実施する様々な連携を通して、SEARADO加盟国が実践する世界アンチ・ドーピング規程に沿ったアンチ・ドーピング活動の実行、クリーンスポーツ環境の整備を支援してまいります。

JADAは、大規模な国際競技大会を経験した先進的なアンチ・ドーピング機関として、国内の活動に加え、東京2020大会のレガシー、スポーツの価値の推進を通じ、国際的なアンチ・ドーピング活動に引き続き取り組んでまいります。



■ 鈴木 秀典（JADA会長）コメント

JADAとSEARADOがクリーンスポーツ環境を推進するため、覚書を更新できたことを大変光栄に思います。JADA、SEARADOのパートナーシップは有形無形の様々な成果がありました。今回の覚書の更新により、パートナーシップを強化し、スポーツの価値を高め、社会をより良くしていく取り組みを進めてまいります。

■ パトリック・ゴー（SEARADO会長）コメント

SEARADOは、長年にわたり多くの課題に向き合ってきました。この覚書と、JADAが提供するイニシアティブは、SEARADOの加盟国が課題に取り組む上でなくてはならない支えとなっています。

私たちは、JADA の長年のパートナーシップに感謝の意を表します。覚書の更新により、必要な知識、専門性、経験を持つ JADA と、より緊密な協力関係が築かれることを期待しています。

【問合先】

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
 広報・エンゲージメント推進室
 電話：03-5801-0960